



こんにちは とみさと議会です

発行／富里市議会
編集／とみさと議会報編集特別委員会
発行日／平成19年11月10日
住所／〒286-0292
千葉県富里市七栄652-1
TEL.0476-93-1111
FAX.0476-91-3595

第156号



敬老の日 市民のみなでお祝いしました。

9 平成19年
月 定例会



9月定例会の議案と議決結果……………	2
みなさんからの請願・陳情……………	2
各会計歳入歳出決算審査報告……………	2
一般質問……………	3

9月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

諮第1号 問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(笠間由子氏)	適任である旨
同第1号 高第1号	監査委員の選任につき同意を求めることについて(川名部正一氏)	全会同意
同第2号 意第2号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(高橋弘和氏)	全会同意
議第1号 案第1号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	多数可決
議第2号 案第2号	富里市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議第3号 案第3号	富里市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議第4号 案第4号	平成19年度富里市一般会計補正予算(第2号)	多数可決
議第5号 案第5号	平成19年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全会可決
議第6号 案第6号	平成19年度富里市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全会可決
議第7号 案第7号	平成19年度富里市老人保健特別会計補正予算(第1号)	全会可決
議第8号 案第8号	平成19年度富里市介護保険特別会計補正予算(第1号)	全会可決
認第1号 定第1号	平成18年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	多数認定

委員会提出議案

第1号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	否決
第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	多数可決
第3号	国における平成20(2008)年度教育予算拡充に関する意見書について	全会可決

議員提出議案

平成19年6月定例会発議案第2号	富里市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	継続審査
平成19年6月定例会発議案第3号	富里市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	継続審査
発議案第1号	悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するための、割賦販売法の抜本的改正に関する意見書について	全会可決

9月定例会は、8月31日から始まり、9月28日まで29日間の会期で開かれました。

市長から議案八件、同意二件、認定一件及び諮問一件が提出され、それぞれ原案どおり可決、同意、認定、答申しました。

また、委員会提出議案として三件、議員提出議案として一件が提出され、三件を原案どおり可決、一件を否決しました。

一般質問は、三会派の代表から会派代表質問が、個人質問は一人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

平成18年度富里市各会計歳入歳出決算審査報告(抜粋)

本決算審査特別委員会は、4日間にわたり、市長、副市長、教育長、代表監査委員及び関係部課等の長の出席を求め、適正で効率的な執行がなされているか慎重に審査いたしました。

審査の過程においては、諸所において活発な論議を経て、公正で効率的な予算の執行について当局の見解をいただきました。

その結果、監査委員の意見書のとおり、各会計とも計数については誤りのないものと認められました。

今後の予算の執行に際しては、「最小の経費で最大の効果を挙げるよう」より一層の検討を加え、これまで以上に効果的・効率的な市政運営に努め、市民の期待にこたえるための予算執行となるよう、特に次の事項について適切な措置を期待し、報告といたします。

- 1 公平・公正の観点から、税及び料金等については、実効性ある徴収対策を講じ、不納欠損額及び収入未済額の削減に最大限努力されたい。
- 2 行財政改革を続行し、効率的な事務事業の執行に努め、住民の要望にこたえるよう努力されたい。
- 3 学校施設の耐震化について、早急に対応されたい。
- 4 図書館における図書購入予算の更なる確保と、蔵書の一層の充実を図られたい。
- 5 各種助成事業等の認定については、厳密な調査を実施されたい。
- 6 保健事業へ対応するための保健師の人的確保をされたい。
- 7 雇用促進対策及び企業誘致に一層努力されたい。
- 8 農業強化・促進及び活性化に一層の充実を図られたい。
- 9 道路維持・管理予算の充実・拡充を図られたい。
- 10 七栄新木戸地区土地区画整理事業について、費用対効果に見合った推進を求める。

みなさんからの請願・陳情

請願第1号

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書 …… 多数採択

請願第2号

◆「国における平成20(2008)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書 …… 全会採択

請願第3号

◆「地域手当の県内格差支給の是正に関する意見書」採択に関する請願書 …… 不採択

陳情第3号

◆合併問題に関する陳情書 …… 多数採択

意見書を提出

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

◆国における平成20(2008)年度教育予算拡充に関する意見書

(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

◆悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するための、割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

○印旛衛生施設管理組合議会議員を選出 …… 相川堅治市長

○決算審査特別委員会を設置

委員長 杉山治男 副委員長 高橋益枝

委員 布川好夫、塩田和夫、中間幸一、高橋保夫、原 清一、柏崎のり子、栗原恒治

一般質問 (会派代表・個人)

9月定例会では、8月31日、9月4日、5日及び6日の4日間にわたり、3会派の代表質問と、11人の議員による個人質問が行われ、市政に対し活発な議論が行われました。

詳細については、市立図書館にて会議録（11月下旬発行予定）の閲覧、または、富里市議会ホームページ（11月下旬掲載予定）をご覧ください。

※本文は質問者自身の原稿によるものです

会派等構成 (平成19年5月16日現在)

●議員定数	20人
◆市民クラブ	6人
◆新政会	6人
◆公明クラブ	3人
◆青と緑の会	2人
◆無会派	3人

お詫びと訂正
第一五五号（平成19年8月10日発行）の七ページ、秋本真利議員の一般質問の文章中、編集の誤りにより「孝慮」とありましたが、「考慮」の誤りでしたので、お詫びして訂正いたします。
同じく第一五五号の二一ページ、高橋保夫議員の一般質問の文章中、「自治法により五年で時効です」とありましたが、「民法により二年で時効です」の誤りでしたので、あわせてお詫びして訂正いたします。

市民クラブ

栗原恒治

問 市長選における七つの約束に関連し、まず行政改革において、職場・職員改革を今後どう取り組もうとしているのですか。

答 行政改革推進本部及び行政改革推進委員会を中心に厳しさを常に認識し、職員一丸となり意識改革を図り改革に取り組みます。

問 市民全体的に見た英会話の将来像はどのように考えていますか。

答 街で外国人と出会った時など英語でのあいさつが飛び交うように

なれたらと思っております。

問 高齢者の体力維持・向上についての今後の取組について。

答 介護予防のための生活機能評価により、要介護のおそれのある高齢者の早期把握に努め、運動機能、口腔機能の向上、栄養改善等介護予防の実践に努めます。

問 幼稚園を含め、各小・中学校の耐震調査に基づきランク付けなど整理されていたらお示しください。

答 庁内に富里市教育施設耐震化計画策定委員会を設置し優先順位や実施時期等、平成19年度を目的に総合的な計画を策定します。

新政会

杉山治男

選挙公約について

問 行政改革。

答 大変厳しい状況下であり改革としては進めない状況です。第二次行政改革や集中プラン等により一定程度の成果を上げていますが、経営資源の有効配分、職員の意識改革と自立した市政運営の確立、透明性の確保と説明責任の実践を目的とします。

問 英語教育。

答 地域の皆様の協力で活動が盛ん

になりました。今後教育委員会が所掌して、ワールドキッズの応援など子供の英語に接する機会に努めます。

問 市民の健康。

答 乳幼児医療費（通院）の対象年齢を小学校就学前まで引き上げ、市民の願いでもあった総合病院が21年度に開院予定となっております。

問 合併問題。

答 二市四町の枠組みは空港周辺地域の将来のひとつの考え方。周辺市町との連絡調整を行い、関係を維持しつつ議員、市民の意見を尊重して慎重に進めたいと思う。

公明クラブ

布川好夫

問 市長の政治姿勢について。

平成19年度は三位一体改革により、地方に本格的「税源移譲」がなされる最初の年であり、「地方主権」元年でもあります。「選択」と「集中」、一方で「競争」と「格差」地方分権の更なる推進に向け、地方の責任と負担が大きく、こうした背景から平成19年度施政方針についてお聞きします。

答 少子高齢化等による経済の縮小、社会の活力低下、労働力不足

など、社会の枠組みが大幅に変動してきており、困難な状況が継続するので「集中改革プラン」を軸に行財政改革を進めます。

問 市長選での七つの約束から。

答 行財政改革として、市長の給料を一〇%減額と地域手当の辞退、約一千に及ぶ全事務事業の再検証、子供たちに英語に接する機会を提供する、学校施設の耐震化、乳幼児医療費の助成の拡充、「まちづくり条例」の制定、市街地形成の促進、空港周辺市町との合併など、各分野にわたりバランスよく取り組んでまいります。

一般質問通告項目（個人）

窪田 優

大川原きみ子

(1) 市民の生活に密着した交通手段の充実について

(2) 市内道路の安全整備について
(3) 自動体外式除細動器AED設置について

立花廣介

(1) 学校施設の耐震化について
(2) 徳洲会病院の開業に向けて市は何かするか
(3) 環境問題について

塩田和夫

(1) 根本名川沿線の市道〇一〇〇二号線の道路改善について
(2) スポーツ施設の整備について

高橋益枝

(1) 富里市道路問題について
(2) 公共交通について

高橋保夫

(1) 畑地帯総合整備北総中央地区関連事業について

中野信二

(1) 富里市長の給与等の削減について
(2) 新潟県中越沖地震から学び、実行すべきことは何か
(3) 新清掃工場建設計画について
(4) 住宅用火災警報器の設置を促進しよう

中間幸一

(1) 千葉県案（千葉県市町村合併推進構想）二市四町の合併実現の取組について

(2) 富里市の街づくりについて
(3) 富里市公共下水道の普及状況と将来の計画について

(4) 富里市の行政財政改革について
(5) 富里市の芸術文化・スポーツ・ボランティア団体への支援について
(6) 日吉台地区の住民防災組織について

佐藤繁夫

(1) 防災について
(2) 安心・安全について

秋本真利

(1) 各種事業について
(2) 市長の政治姿勢について
(3) 選挙について

柏崎のり子

(1) 地方税改定による影響と減免・軽減措置について
(2) 学校施設の整備と教育条件の充実について

問 学校プールの市営プール事業の実現を

答 学校プールの開放事業実施要綱で協力を

窪田 優

問 学校プールの開放について市の対応を求めてきました。今年6月28日に「平成19年度学校プール開放事業実施要綱」が示されましたが内容について指摘しますが

「三年生以下は保護者同伴」、「30分の遊泳で10分の休憩をさせる」、「小学生未満は利用を認めない」、「浮き輪は禁止」など、現場に任せればいいことまでも指図しています。これでは利用できていた団体まで利用できなくなってしまうのがいかががですか。

答 当初は学校開放の規則の変更で考えていたが安全上の問題があり体育指導員、学校の意見を聞きながら進めたもの、最終的に教育委員会議で承認されたものです。

あくまでも19年度に間に合わせようとして急いだもので今後、議論を踏まえて検討して

いきたいと考えています。

問 三年前から議会で質問してまです。その場限りの答弁でなく、スケジュールを立て取り組むべきだったと思います。市の責任で「市営プール」は無理ですか。

答 学校プールは広く市民に開放するように設計されていません。地域の方々が中心となって子供たちに開放されるように話し合っていきたい。



プールで遊びたい

問 市民に密着した交通手段の充実を

答 さとバス検討委員会の意見踏まえ検討

大川原きみ子

問 さとバスの現状について。

答 今年8月31日で五年の委託契約が終了。累計利用者数七万五、八二八人、一日平均六八二一人です。

問 生活者の目線から生活に密着した交通手段の整備が不可欠です。今後について。

答 来年の3月までは暫定的に運行を継続し、さとバス運行検討委員会から出される意見等を踏まえ、検討してゆく考えです。

問 高齢者・障害者の交通手段は。

答 NPO法人やボランティアそし

て民間の介護タクシー等を利用しての外出支援事業サービスの充実を検討してまいります。

『市内道路の安全整備について』

問 小松台団地・第二工業団地内の安全整備について。

答 安全を確保するための効果的な対策を検討し、工業団地については信号機の設置など警察署と協議の上、公安委員会に要望してまいります。

『自動体外式除細動器（AED）』

問 AEDの全公共機関及び小・中学校への設置導人について。

さとバスルート図

答 本庁舎正面に富里ライオンズクラブより寄付いただき設置。福祉センター、社会体育館は自動販売機業者と協議にて設置、小中学校への設置も検討課題といたします。

問 学校の耐震化、任期中に解決せよ

答 四年の間にぜひやりたい

立花廣介

問 6月議会では私は南小体育館について、屋根工事を延ばし、耐震工事と一緒にやったらどうかと聞きましたが、屋根工事は予定どおり進めるとの答弁だった。しかし、閉会后、全員協議会で屋根工事の入札ができなくなったとの報告がされた。なぜ、法的根拠のない、議事録もとらない全協での報告なのか。議会軽視ではないか。

答 整備事務所から、耐震力不足により屋根工事は許可されないことがわかり、いろいろ検討しました。結局、立花さんの言うとおり、

屋根と耐震補強を一緒にやることになったんですが、それには予算の修正、補助金等々、変更が繰り返されないよう、しかも来年一年でやるようにということで、全員協議会の報告になりました。議会を軽視するつもりはありません。

問 市長選で学校の耐震化を公約した以上、任期中に解決すべきと考えるが、どうですか。

答 四年の間にぜひやりたい。



屋根と耐震補強設計予算可決（南小体育館）

問 施政方針や、市長選公約で医療体制の整備と言っている以上、周辺道路整備等の施策を考えるべきと思うがどうか。

答 事業者から計画が提示された時点で開発指導要綱に基づき協議していきます。

問 根木名川沿線の道路改善について

答 局部改良や維持補修工事を実施します

塩田和夫

問 根木名を起点に、大和から久能へ抜ける区間の道路は、生活道路として車の通行量が多く、曲がりくねったカーブや道幅が狭い道路です。危険防止、また、歩行者の安全対策上道路整備が必要です。今後の改善について伺います。破損箇所の補修については。

答 根木名から大和地先の区間について、損傷がひどい箇所の局部改良や維持補修工事を実施しています。今年度も大和地先の一部改良工事を実施し、補修工事を行う予定となっています。

問 歩道ラインの設置等歩行者安全対策は。

答 当該路線は、路線全体では幅員が狭いため難しい面もあります。今後十分検討していきたいと思えます。

問 道路を覆う草木の伐採は。

答 年間二回の業務委託による除草業務を実施し、カーブ等の見通し



安全な生活道路を

確保をしております。また、パトロール等により交通の支障があるものについては随時対応します。

問 防犯灯の整備は。

答 市が管理している既設防犯灯が五三灯あり、今後も適切な維持管理に努めていきます。

切れているものについては、現地調査した上で対応します。

問 今後のさとバスについて

答 運行検討委員会で行っています

高橋益枝

問 今後の見通しについて。

答 今年8月31日をもって委託契約が終了しましたが、9月から来年3月までは現行どおりの運行をします。

問 成田・両国線も八街駅まで路線バスが行かなくなりました。循環バスは市役所が起点になっています。千葉や東京方面に行くにはJR酒々井駅に行くようになるのでしょうか。

答 JR酒々井駅へ乗り入れると、走行距離の増加に対応するため減便やルートの廃止を行わなければならず、利便性が損なわれます。行政区をまたがっての運行はクリアしなければならぬ課題が多く、諸条件の変更等があれば、改めて検討します。

問 小・中学生の乗車料金を無料にできませんか。

答 「交通弱者」に配慮した運賃としております。

『富里市道路問題について』

問 市道〇一・〇〇八号線（新



横断歩道のない通学路（中沢）

橋から中沢）の対策は。また、四〇九号との交差点に横断歩道がないが。

答 今年度、カーブ手前の路面表示について検討しています。また、横断歩道については警察と協議していきます。バイパスについては、県に県道として要望しました。

問 畑地帯総合整備北総関連事業について

答 下流市町村との調整財政面でも困難

高橋保夫

問 農業が国の基幹産業であることは富里市において現代も変わりはないと思われる。農業に携わる人が、安心して営農できる環境を整えてやるのが肝要であると思われる。どんな干ばつや大雨でも災害に強い農地をつくっていくことが大事です。

答 国策で県の事業である畑地帯総合整備事業を完成させることで農

家の皆さんが希望を持って頑張っていけると思うが、この事業の進捗率と今後の見通しをお伺いします。

答 現在、排水事業を中心に取り組んでいるところですが、下流市町村との調整や財政的問題等から目標年度完了は難しい状況です。

問 『富里市公共下水道計画について』下水道整備は汚水防止、環境の

面からも優先させるべき事業であります。今後の計画とあわせて各団地の浄化槽補修工事に対する補助金の増額をお願いしたいと思えます。見解をお示しく下さい。

答 下水道整備は事業認可を受けている市街化区域並びに隣接する市街化調整区域の整備を進めていきたい。補助金の増額については、市の財政及び各浄化槽の現状を踏まえて検討してまいります。



下水道整備を待つ集中浄化槽

問 中越沖地震の被害から何を学んだか

答 災害に強いまちづくりに取り組みます

中野信二

問 新潟中越沖地震の被害を当市の防災対策にどう生かすべきか。

答 市民への防災知識の普及、自主防災組織の育成強化・充実、備蓄体制の整備等の予防対策を推進します。避難所や一般住宅の耐震改修の充実も今後の課題です。

問 上・下水道等のライフラインの耐震性は確保されているか。

答 下水道の幹線管渠等の大部分は旧耐震基準に基づき設置されています。国の下水道地震対策緊急整備事業を活用し、耐震対策の実施を検討します。上水道は、一号及び二号配水池、取水井等が旧耐震法により設置されています。

問 避難所の耐震不足をどのように解消していくのか。

答 避難所である小・中学校施設の耐震化計画に基づき整備します。代替避難所の指定はしません。

問 災害時の要援護者名簿は作成されているか。



住宅耐震化は減災の本命だ！

答 作成していません。安否確認、避難状況把握のため、今後、作成していきます。

問 古い高齢者住宅の耐震化にどのように取り組んでいくか。

答 高齢者が古い住宅に住んでいる割合が高いことから、耐震化に取り組める環境整備、負担軽減策等の施策を検討します。

問 千葉県案二市四町の合併構想について

答 空港圏の将来のため尊重したい

中間幸一

問 千葉県案（千葉県市町村合併推進構想）二市四町の合併実現の取組について。

答 成田空港を核として協力し合い発展してゆくことが大変重要。

問 富里市のまちづくりについて。

答 市総合計画における基本的な考え方をもとに市を三つのゾーンに分け北・中・南部に応じた土地利用を推進。今後社会経済状況等の変化に対応し見直しを図ってゆく。

問 富里市の行財政改革の住民への説明と取組について。

答 広報紙及び市ホームページに掲載し広く周知を図っております。

また、第二次行政改革（三年間）で約五億円の削減効果を上げた。

問 富里市の芸術文化・スポーツ・ボランティア団体への支援について。

答 芸術文化の発表の場「富里市文化祭」、学習機会の提供「生涯学習アシスト事業」、協働のまちづくりの推進を目的として「富里市



空港都市づくりシンポジウム

創年セミナー」を実施しています。

スポーツでは今年度より「とみさとスポーツ健康フェスタ」を開催。今後もボランティア団体等支援。

問 日吉台地区の住民防災組織充足について支援はいかに。

答 各自治会の組織的取組が重要。市と地域が連携し取組推進。

問 大型地震に対する安心・安全は

答 油、ガスとも耐震強度のパイプを使用

佐藤繁夫

問 中越沖地震では壊れないはずの柏崎・刈羽原発が一部壊れました。改めて地震に対する安心・安全について考えさせられました。

そこで富里市内には、成田空港への航空機燃料と、千葉ガスが通過していますが、これの安全についてお尋ねします。

答 成田空港会社の説明では、パイプ本体が耐震強度を備えており、市街地では、二重管構造等により、油が外部に流出しない構造になっています。

千葉ガスについても阪神淡路大震災にも耐えられたとのことで、どちらのパイプも地震を感知すると、供給が停止するようになっていくとのこと。

問 貯水池及び水道の水供給能力はどのようになっていますか。

答 水道施設の破損等により断水した場合には、断水地



保育園わきの貯水池

区の重要施設に浄水場から水槽積載車で優先的に水を運搬します。なお、災害の規模によっては、浄水器を用いた防火水槽の活用などいろいろな方法を考えています。また、水道施設については、昭和57年以降に設計建築されたものは、現行の耐震設計法が適用されており。

問 長期的課題として新交通で市に駅を！

答 都市交通システムがあればよいと思う

秋本真利

問 次世代のためにも、長期的課題として取り組んでもらえませんか。

答 議員提案のシステムを、ぜひ見に行ってみたいと思います。

問 四年も前から酒々井インターへの市道バイパスの必要性を唱えています。地元や商工会から請願も出ていますが、進捗はどうですか。

答 インター整備した県がやるべき。**問** トップである市長が強く県に要

望するべきではありませんか。

答 機会があることにお願したい。

問 日赤前の道路を新木戸地区の都計道まで貫くべきでは？市の発展や区画整理を活かす効果が出ます。

答 早期に整備できるよう努力する。

問 駅利用者のための駐輪場設置は条例で可能はず。他市の駐輪場を利用せよと言う前に、責任を持って、みずからの市で自己完結すべき。日吉台に駐輪場の設置を。

答 候補地の調査などを実施します。

『市長の政治姿勢について』

問 市長は本則による給与減額を市民に公約。ところが、実際には特例条例の改正。公約未達成では。

答 原総務部長に言われ特例にした。

問 公約を履行するのが政治家なのでは？ぜひ、本則を改正して公約を実現できませんか。

答 実現したいと思う。議会で言ったことと間違っ申し訳ない。



次世代のため富里駅を！（富里市立図書館前（イメージ））

問 住民税負担増・減免取扱基準の策定を

答 公平に広く受益負担を求める

柏崎のり子

問 6月の納税通知書を見た住民から「間違っていないか」などの問い合わせや怒りの声が殺到したと聞いています。市民生活に重大な影響を与えています。地方税法、

市税条例では、市長は特別な事情がある者の住民税を減免すること

ができることと定めています。既に匝瑳市では生活保護基準の一・二倍までを減免対象とし、延滞金減免も定めた取扱基準をつくっています。市民負担軽減のため

に減免取扱基準の策定を求めます。

答 実質的な市民負担は増えています。条例では生活保護などの規定はあるがほかに実績はありません。納税弱者には個別対応になるかと思う。税の公平性から広く受益者負担を求めるものです。

問 国保法（窓口での一部負担金）では特別な理由で支払いが困難な場合の減額や免除を定めています。これまで近隣

の動向を見てと答弁をしています。八街・四街道・佐倉市等では対応しています。

答 財源について運営協議会等で検討しなければなりません。

問 国保税滞納に対する延滞利子は一四・六％と高利率です。国に引き下げを求めるべきです。

答 今まで求めたことがない。勉強してから考えたい。



問い合わせが殺到した税務課



いつもにここにござる (新橋)

議会を傍聴しませんか

12月定例会は

12月5日(水)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。

※本会議の様子は市民課ロビー(市庁舎1階)のテレビでもご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください!

議会報を読んで感じたことなど

皆様のご意見をお待ちしております。

また、議会報は市議会ホームページでも

ご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局

TEL.0476-93-1111 FAX.0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

9月議会が9月28日に終わりました。

その日は気温が30度を超えました。農業は天候に左右されますので農家の方は大変だと思います。

富里の基幹産業は農業です。富里市だけでなく日本全体の農業問題でもあるのですが、高齢化問題、後継者問題等さまざまあります。また、農業には豊かな経験と知識と知恵が労働力とともに必要とされます。それらの課題を少しでも乗り越え推進されるよう、努めたいと思います。

平成17年富里市のスイカの出荷量が、熊本県植木町を抜いて日本一となりました。今年、地域団体商標制度により千葉県「八街産落花生」と「房州びわ」と「市川のなし」が認可されました。そして、「富里スイカ」も今年8月10日に認可され、富里のブランドとしてひとつ誇れる事が増えました。これもスイカ農家の皆様のこれまで培ってきた技術の推進と努力の積み重ね、そして、畑に流した汗の賜物だと思います。

(副委員長 高橋益枝 記)

とみさと議会報編集特別委員会

委員長／窪田 優 副委員長／高橋益枝 委員／大川原きみ子 塩田和夫 高橋保夫 原 清一 立花廣介